

# 市長とのかがやきライフトーク

と き：平成 27 年 12 月 7 日（月） 19：00～20：30

ところ：南地区センター1F・会議室A

団 体：こども★はぐ組

## 【団体代表者挨拶】

「こども★はぐ組」という団体は、主に保育園に子どもを預けて働く親同士の横の繋がりから生まれた団体です。子育てに関する情報交換や、保育士を講師に招いて子どもの発達の学習・交流会をしています。

ここ 2, 3 年は、育休退園に悩む声が寄せられるようになりました。

今日は団体メンバーの中で実際に育休退園の経験者、これから第 2 子の妊娠出産を考えている人、来年度の入園予定者、育休退園をした子どもを担当した保育士が集まりました。

まず私自身ですが、岐阜市にある医療団体の事務職員として、結婚前からフルタイムで 13 年働き続けています。子どもは小学 1 年生の娘と保育園 3 歳児クラスの息子の 2 人です。

第 2 子の出産から 10 か月になるまでの間、育児休暇を取りました。今ある育休退園制度前だったので、当時 2 歳児クラスにいた娘は継続して在園することができました。

育休中に上の娘が在園できたおかげで、スムーズに職場復帰できたと思っています。近居している両親の助けも大きく、保育園の先生方の温かい励ましの言葉によって、職場でのプレッシャーを乗り越えられ、仕事と育児の両立ができています。

私も夫も大垣市で生まれ育ち、娘が自分の母校に通う姿をみると嬉しいです。夫婦共に職場は市外ですが、故郷である大垣にこだわって住んで良かったです。大垣は色々な事業やイベントが盛んで、楽しく子育てができていると思います。

## 【団体】

小学校に勤めています。同僚から保育時間が 19 時まで延長になったと聞き、すごく助かると思いました。

我が家は 3 人目の子どもが去年の大晦日に生まれました。上の子どもたちは 2 歳違いです。1 番上の子どもが保育園入園時には、2 人目を妊娠していました。入園当初、1 年



後には退園になると聞いていましたが、その後は出産 2 か月で退園になると話が変わっていました。決まったことなので仕方ないと言われていましたが、あまりにも急であり戸惑いました。

病院や保健センターに相談をしたり、また交流の場を持つために子育てサロンにも繰り返し通いましたが、母親にしがみついて泣くなど期待が持てず、親として子どもに罪悪感を抱きました。



#### 【団体】

同じように育休退園を 25 年度に経験し、現在は復帰してフルタイムで事務職をしています。4 歳と 1 歳未満児の子どもが 2 人います。

兄弟同時に通うのは難しいとも聞いていましたが、何を 1 番に考えるべきかと判断した結果、時期を選ばないことにしたらすぐに 2 人目を授かりました。長女の育休退園は覚悟したつもりでしたが不安がよぎりました。2 年間慣れ親しんだ保育園を次女が 2 か月の時に退園しま

した。娘の不安を取り除こうと、退園後も整ったリズムで毎日過ごせるように試行錯誤しながら習いごとに通い、公園や通っていた園に遊びに出掛けるなど、できる限り友達や先生との関わりも保てるようにしました。

今は、子どもと過ごせる貴重な時間である、専業主婦は皆さんやっていることだと自分の気持ちを奮い立たせて 8 か月間を乗り切りました。この間を振り返って思うのは、家族が健康であったこと、子育て支援センターや公園が徒歩 5 分圏内であったこと、退園後の私たちが保育園が快く受け入れてくれたこと、通っていた園に再入園できる望みがあったことなどです。この中のひとつでも欠けていたらどうなっていたのでしょうか。

育休退園による急な環境変化によって、子どもの成長やメンタル面が大きく変わる現状を受け止め、第 2 子、3 子と育てやすい環境を整えて自慢できる市にしてほしいです。

#### 【団体】

市長がうなずいて聞いてくれる姿が皆さんの励みになると思います。制度は承知していますが、制度だからでは片付けられないことです。

#### 【団体】

正規の助産師でフルタイム勤務、今年 2 月に育休退園の経験し、ここ 1 年は育休中です。12 月に復帰を予定していましたが、どこの園も満員で子ども 2 人を同時に受け入れが不可能だったため、4 月からの復帰となった方の手紙を代読します。

育休退園した長女の生活リズムを保とうと努力をしましたが、同じようには到底できずに、私も長女もイライラや不満が募りました。そんな時でも「お母さん大好きだよ」

と気遣う娘の優しさに救われたり、さらに落ち込んだりと母親としての未熟さを思い知らされました。思い返してみると私自身が子ども2人との生活に対応できずに、心の余裕がありませんでした。

仕事を持つ私にとって、子どもたちとじっくり向き合い過ごした経験はとても貴重であったと思います。しかし、親のストレスで被害を受けるのは子どもです。

4月に長女だけが何とか元の保育園に通えるようになりましたが、長男の入園は叶いませんでした。職場復帰に向けてスキルアップの学習会に参加しようとしても、一時保育でさえ断られる始末でした。決して子育てしやすい環境ではないと痛感しました。

### 【団体】

保育をしてきて感じたことは、子どもにとって日々の生活が大切であるということです。園にも慣れて信頼関係もできた子どもが、育休退園制度のために通えないのは、園児や保育士にとっても残念でした。親にとって子どもができることは嬉しいことですが、出産した後に活発に動く2歳児と首がすわらない赤ちゃんを一緒にみる不安がよぎり、妊娠を素直に喜べないとの声を聞くと、子育て日本一を掲げる大垣市がそれでいいのかと疑問を感じます。



### 【団体】

市内の会社に勤務し、月の半分が残業や時々休日出勤もあります。子どもは、4歳児の長男と1歳児の次男です。

長男出産後に1年間の育休を取り会社に復帰しました。長男の保育園予約時(0歳児保育)には空いている園がほとんどなかったことにびっくりしました。長男が保育園に通い次の子を考えていた時期、育休退園になることを知りました。迷いが生じましたが妊娠し、育休退園制度を目の当たりにして困りました。9月出産で11月に仕事復帰しても、兄弟での途中入園は満員で入れない状況でした。

周りには保育園の現状を知らない人が結構いるようです。遠方の保育園や兄弟が別々の園に通う提案については、物理的に問題があるので考えてもらえるとありがたいです。

### 【団体】

以前は病院で医療スタッフとして働いていましたが、出産を機に退職し、実家の仕事の手伝いをしています。3歳の娘と8か月の息子がいます。

2人目が欲しいと思った時、長女は未満時クラスなので育休退園となってしまいます。出産して仕事復帰した際に、未満時の子どもを2人同時に保育園に通わせるのは難しい

と聞きました。仮に違う保育園に通えたとしても、親子とも新しく関係を築いていかななくてはならない不安があります。悩んだ末に、下の子が1歳になるまで実家の仕事の手伝いをし、その後またフルで働く結論に至りました。私自身は働きたいし、子どもも産みたいという両方の思いが強かったですが、制度によって産む時期を考えなければいけないのはどうなのかと感じます。せめて下の子が1歳になるまで上の子を保育園で預かってもらえたら、社会復帰もできたのではないかと思います。地域によっては、下の子が1歳になるまで上の子を保育園に預けることができます。大垣市の場合は子どもを育てながら働き辛いと感じます。

#### 【団体】

2歳3か月の男の子がいます。子どもを11か月頃から保育園に預け、介護の仕事に復帰して育児と仕事を両立しています。実際に大変な場面は多いですが、好きな仕事なので充実した日々を送っています。子どもは保育園の生活にスムーズに移行でき、園での生活を楽しんでいます。園での生活は子どもにとっても日課になっていると感じます。私は第2子を希望していますが、育児休暇を取得すれば上の子は退園しなければいけない制度を知り、わが子から保育園の生活を奪えず、実際には前向きに考えられません。あと1年、妊娠の機会を諦めざるを得ないというのが現状です。

#### 【団体】

市内にある民間の保育園に、3歳の息子を預けています。育休明けと同時に、わが子を保育園に入れようと思い手続きをしましたが、1歳児のクラスは満員でした。夫婦共に正規職員でフルタイム勤務なので、優先順位的には高かったと思いますが、選考の結果キャンセル待ちとなり、保育園に入れることが難しいと痛感しました。入園後、子どもが保育園に慣れてきたので2人目を考えましたが、育休退園制度を知っていたので、3歳になるまでは、妊娠は難しいと夫と話し合っていました。

子どもがほしい時にできないこともあるし、育休退園制度により、産む時期を考えなければいけないのはおかしいのではないのでしょうか。大垣は住みやすいまちで大好きですが、子育て日本一と言い切れないように思います。

#### 【団体】

中学校で働いており現在育休中、4歳と1歳の子供がいます。それまでは、問題なく地域の保育園に子どもを入れることができると思っていました。職場復帰後は、自宅も実家も近い幼保園を希望していましたが、昨年は抽選に外れました。今年は空きのある保育園にバス通園しました。来年度からはフルタイム勤務なので、間違いなく入園できると信じていましたが、4歳児の募集はゼロでした。住んでいる地域の公立保育園に預けたいだけなのに、なぜ2年間もこんなに苦労しなければならないのでしょうか。

### 【市長】

保育園は小・中学校と違い校区に関係なく入園できるため、人気のあるところに集中するなど希望の園に入れないことがあります。

### 【団体】

近所の子どもたちは、それぞれ違う園に通っており不自然さを感じます。なぜ地域の保育園に、地域の子どもたちが入れないのかを市役所に問い合わせましたところ、「大垣市は3歳児を受け入れる幼稚園が少なく、他の地域からも集まってきます。新しい園舎の保育園も人気があります。また、保育園は複雑な事情を抱えている人もおり、地域住民を優先すれば、そのような人が埋もれてしまいます。幼稚園は教育、保育園は福祉と、それぞれ管轄が違います。」との回答でした。

待機児童ゼロをうたっていますが、どこかに入れれば良いというものでもありません。もう1人子どもがいれば楽しいとは思いますが、このような苦勞はしたくありません。大垣を愛する市長に、未来を担う子ども達や子育て世代をぜひ支援してもらいたいです。

### 【団体】

4歳児の子どもがいます。私は子どもを授かりにくい体質で、2人目は難しいと思っています。周りの親さんに子どもができたなら、おめでとうと言ってあげたいです。しかし育休退園制度のことを考えると、素直に言えない気持ちがあり悲しいです。同じ保育園に通っているお母さんは仲間であり、子どもが授かったら良かったねと言いたいです。



### 【市長】

育休退園が一番大きな課題です。幼保園、保育園、幼稚園で預かっている園児の子ども全体に対する比率は、大垣市が岐阜県下で圧倒的に高いです。園の数も圧倒的に多いです。

高齢者福祉の話も出ましたが、児童や障がい者福祉も含め、福祉に費やしている金額も県下で大垣市が一番多いです。県内の町の豊かさを示す財政力指数も、大垣は色々な会社があり、財政力は都市の中で一番高いです。税収もあり、高齢者福祉、児童や障がい者福祉も充実していると、数字上ではっきり出ています。全体を通してはそう言えますが、特に0歳児保育などが十分に対応できていないのは、財政的な面もありますし、マンパワーや施設面でも厳しいのが実情です。建設中の幼保園において、0歳児保育を充実しようと進めているところです。

3歳未満児保育に関しては、ご指摘の通り十分ではないと感じています。保育園は校区

に関係なく、好みの保育園を選択できる良い面がある一方で、希望者が多いと近くにあるのに通えないなどの悪い面もあります。また、新設は人気があります。最寄りの保育園が満員でも、空いているところに通える長所もあります。いずれにしても預かる体制を柔軟にし、キャパシティーがもう少しあれば良いかと感じます。

それとは別に、幼いうちは親子の触れ合いも大切といった考えもあります。子育ては色々あるし、これからもさらに問題が出てくると思います。大変ではありますが、それ以上に楽しいものでもあり、振り返ってみても良かったと思います。だから、私は子づくりや子育てを皆さんに勧めています。育てる環境として、キャパシティーが増えた方が良いのは事実です。それと同時に幼い頃は、親子一緒に過ごすことが、子どもにとっても触れ合う期間が長く良い面もありますので、前向きに受け止めるのも必要に感じます。

プロセスに応じて悩みごとが出るのは子育ての事実です。子育ては三者三様で皆さん色々な課題を抱えています。しかし、様々な課題に取り組むのが子育てであり成長ではないかと思っています。私も家庭に戻れば皆さんと同じように、家庭や子どもの問題を抱えている同じ立場で、振り返ってみると苦勞も含めて子育て経験は充実していて良かったです。

受け入れ態勢が確立できていないのではないかと、との意見もありましたが、預かりファミリーサポートとかエンジェル事業プランなど色々な事業をしており、データからも分かるように、県下では一番充実していると思っています。しかし、まだ足りない部分は充実を図っていかねばと思います。育休退園は0歳児保育とも関連があります。この2つの対策が十分にできるかが課題でもあります。徐々に対応していく体制です。できるだけことはさせてもらいますが、経験者の立場から言わせてもらおうと、子育てには悩みがつきもので、細かいところにこだわり過ぎもいけない場合もあるように思います。



#### 【団体】

育休退園制度を知っており、2人目が生まれた時から1人目も家庭で育てていました。母子共はずっと環境が変わらなければ、大きな問題もないと思います。育休退園となるとまた別問題で、途中で環境が変わることを理解してもらいたいです。

#### 【市長】

2歳、3歳となると物心が付いて、子どもは環境の変化が分かります。育休が法整備されていても、現実的に育児休暇を長く取るとは難しいこともあり0歳児保育を進めています。その中で育休退園が一つの課題として出てきます。順次整備していくという考え方でいるというのが実情です。

### 【団体】

会社復帰した社員からの話ですが、子どもを9月に入園させたく、4月に大垣市内の0歳児受け入れ保育園を探したところ、どこも満員で祖父母に預けることになりました。データの的には待機児童がゼロかもしれませんが、上石津や墨俣を含めることに対して疑問を感じます。旧市内から上石津や墨俣への送迎は物理的に難しく、市役所で提示するのはどうかと思います。

### 【市長】

上石津や墨俣を別にしても、恐らく大垣市の子どもの預かり率は一番多いです。自宅にいる人が、保育園や幼稚園で預けるケースもあるかもしれません。



### 【団体】

そういう人の書類審査は緩いのに、本当に働いて育児休暇を取る人には厳しいのはどうなのでしょう。

### 【市長】

その辺りの区分が難しいところです。

### 【団体】

きちんと職を持ち働いている人の審査が厳しいのは、何とかならないのでしょうか。

### 【団体】

市長に今回の話を共感的に聞いていただき、良かったと思います。

親が子育てするのは理想で、保育関係者もそう思うところではあります。母親が他の力を借りながらも1人で向き合わなければならない苦しさは、かつてよりも明らかに強くなっています。保育園を考える親の会が全国にあり、100市町村にアンケートを取った結果、ほとんどの自治体が育休退園を制度として採用しておらず継続入園ができます。この制度を行っているのは少数派です。

子どもの発育にとって、園生活は重要と判断されるようになりました。親が安心して子どもを預けることができ、安心した世界の中で子どもは親や友達に関わることが非常に重要であると、科学的にも明らかになってきました。

大垣市も努力していると認識していますが、具体的には壁に直面している親が少なくないと認識していただき市政に生かしてほしいです。時代の変化に伴い社会が子育て家庭の子どもたちを支えるという観点が、これから先は必要であると思います。

**【市長】**

地域で遊び、育ち合いの状況が少なくなってきました。公園整備しても子どもの利用率は高くありません。地域のつながりも大切であって、子ども同士や近所の大人が声を掛けるといった環境が必要です。時代の変化もあると思いますが、子育て日本一のスローガンを掲げているので、皆さんの意見も参考にして市政に取り組みたいと思います。